

学校の沿革

明治	7年	6月23日	吉沢校、吉沢字中路523の民家で開校
	13年		吉沢校、吉沢字谷ヶ下に校舎を新築
	20年	8月	吉沢尋常小学校となる。
	22年	4月	吉野尋常小学校 吉沢・堤・芋野3ヶ村合併、吉野村となる。
	37年	9月	吉野尋常小学校、芋野字船岡に校舎新築
	44年	4月	吉野尋常高等小学校開校
大正	9年		学校周囲に多くの桜を植え、「桜ヶ丘」と名付ける。
昭和	8年	2月	弥栄村誕生。弥栄村立吉野尋常高等小学校となる。
	12年	3月	校舎改築完成
	16年	4月	弥栄国民学校吉野分教場となる。
	22年	4月	弥栄村立吉野小学校と改称する。6・3制度発足
	30年	3月	町村合併により、弥栄町立吉野小学校となる。
	36年		給食室建築、完全給食開始
	47年		災害復旧を兼ねて、若干校舎拡張を行う。
	51年	4月	現在地に新校舎建築着工
	53年	1月26日	新校舎竣工式（3月プール完成）
	57年～59年		学童農園設置事業の指定校となる。
	59年～61年		京都府社会福祉協議会より福祉協力校の指定を受ける。
	62年		金管楽器一式購入、金管バンドの指導を受ける。
	62年～平成8年		町社会福祉協議会より福祉協力校の指定を受ける。
	62年～63年		京都府教育委員会研究実践推進校（国語）の指定を受ける。
	63年		京都府安全協力校の表彰を受ける。
平成	7年		鼓笛用楽器、ユニフォーム一式購入
	7年～8年		京都府小学校教育研究会より研究協力校（体育）を委嘱される。
	10年～11年		スクールカウンセラー活用調査研究委託校となる。
	11年		丹後小・中学校音楽フェスティバルに5・6年生が出演する。
	11年～13年		文部科学省指定エイズ（性）教育推進地域事業の指定を受ける。
	14年		学校改修工事 体育館の屋根修理、障害児学級（さくら学級）の新設、コンピュータールームの移動
	16年	4月	丹後6町合併により、京丹後市立吉野小学校となる。
	16年		京丹後市小・中学校音楽フェスティバルに4・5・6年生が出演する。
			京丹後市教育委員会指定「教育推進モデル校（少人数指導）」となる。
	16年～17年		京都府教育委員会並びに京丹後市教育委員会指定「地域ふれあい体験活動」推進事業を受ける。
	17年	4月	吉野小学校区地域安全ネットワーク会議設立
	18年～		京都府小学校教育研究会「図書館教育」研究協力校の委嘱を受ける。
	19年	11月	京都府小学校教育研究会図書館教育部研究協力校中間発表
	20年	10月	京都府小学校教育研究会図書館教育部研究協力校研究発表会
	21年	4月	平成21年度読書活動優秀実践校文部科学大臣表彰を受ける。